



2024年度活動報告書

チヨキサウルス協会

名前を呼ばれる

「みんなで絵、描こうぜ」

2016年に小学校1年4組で産声を上げたチョキサウルス協会。教室にクラスメイトの絵を飾る係から始めたなあと思い出しました。私としてはチョ協は育てたというより共に育ったという方がしっくりきます。

創立9年目。今年は初めての単独展も開催し、各方面からの受託事業も増え、団体として認められつつあることを感じる一年でした。

そんな2024年。本当に嬉しかったのが、名前を呼んでもらえるということ。

「チョキサウルス協会さん」「チョ協のみなさん」。今年はよくこの言葉を耳にしました。このように広く名前を覚えてくださったのは、私たちを社会に押し上げてくださった関係者・関係機関のみなさま、アーティストの方々、そしてなにより展示やイベントに足を運んでくださったの方々のおかげです。

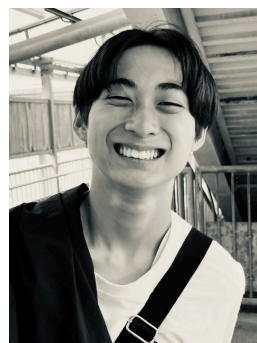
未熟でない部分を見つける方が難しい私たち。きっとこれからも完成することはないでしょう。そんなチョ協ですが「ニッポンどこでもアトリエ どこでも美術館」を合言葉に、引き続きアートと社会を繋ぐ活動を行って参ります！

余談ですが、「チョキサウルス」という名前の由来を幾度となく尋ねられました。毎回カッコ悪い理由をお答えしています。

「保育園の時の手遊びで思いつきました（苦笑）」

まさかこの名前を使い続けるとは考えてもなかった為、恥ずかしいくらいテキトーな命名ではありますが、逆にそれがちょうどいいのかもしれません笑。

チョキサウルス協会
代表 清古尊



メディア掲載・出演

チョ協の今年の出番をご紹介します。

- 4月18日 <新聞> 中国新聞「手形で伝える「その人らしさ」」
- 手形収集の活動について
- 5月29日 <新聞> 中国新聞「人柄伝える手形 集めた20枚展示」
- 「清古尊手形展」(広島・廿日市市大野支所) について
- 7月17日 <新聞> しゃぼん玉新聞「廿日市市でがんばっている人の「手形」を集めて」
- 手形収集の活動について
- 7月21日 <新聞> 朝日新聞「広島支える手 集める「形」」
- 手形収集の活動について
- 9月21日 <YouTube> テレビとよの「広島「まちおこし中学生」清古尊さん(14) 登場！」
- 「清古尊手形展」(大阪・とよのていねい) について
- 10月11日 <新聞> 中国新聞「中学生10人が美術展 チョキサウルス協会」
- 「いまこそチョ協」について
- 10月25日 <ラジオ> FMはつかいち「廿学ラジオ」
- 「清古尊手形展」(大阪・とよのていねい) について
- 10月28日 <ラジオ> FMはつかいち「FMはつかいちっ子 この指とーまれ！」
- チョキサウルス協会の取り組みについて
- 12月20日 <テレビ> NHK総合「コネクト」
- 手形収集の活動について

自主事業

自主事業①



清古尊手形展

2024年5月27日〈月〉～2024年6月28日〈金〉/廿日市市大野支所 待合スペース（廿日市市大野）

当会代表・清古による広島ゆかりの著名人の手形コレクションのうち、厳選20名の手形を展示いたしました。「ばっちゃん」として親しまれる子ども食堂の祖・中本 忠子さんや、特定非営利活動法人ひろしまジン大学代表理事の平尾 順平さん、彫刻家の岡 孝博さんをはじめとする広島の子のキーパーソンの手形の鑑賞を通して、地域の魅力を再認識するきっかけとなれば幸いです。

出展作家（会員）
清古 尊（手形）

自主事業②



いまこそチョコ協

"前衛"をみる

2024年10月6日〈日〉～2024年10月20日〈日〉（好評につき11月21日〈木〉まで会期延長）/ナガスタ（廿日市市津田）
協力：原爆ドーム合作絵画の会

創作以来、当会初のグループ展。2016年より継ぎ足し続けた、長さ200メートルの絵巻物《世界一周チョコ絵巻》（2016年-）をはじめとする所属作家とゲストアーティストによる当会特有の前衛的な絵画と彫刻約100点を展示。廿日市市のアップサイクルショップ・ナガスタにて開催をし、市内のみならず各地から多くの方にご来場いただきました。

出展作家（会員）
岡崎 佳祐（昆虫標本）、小澤 凸凹（絵画）、金澤 明哉（写真）、河村 悠衣（絵画）、清古 尊（手形、立体）、藤井 悠輔（絵画）、松本 コダマ（絵画）
出展作家（ゲストアーティスト）
原爆ドーム合作絵画の会（絵画）、長澤 靖（デザイン）、広島 太郎（書）



いまこそチョ協特別ワークショップ

2024年11月10日〈日〉/講師：金澤 明哉、清古 尊（チョキサウルス協会）/ナガスタ（廿日市市津田）
参加人数：5名

本ワークショップと同じ会場で開催中の展覧会「いまこそチョ協」に併せて、出展作家の金澤と清古によるアートワークショップを開催いたしました。画用紙に角材やフォークで水彩絵具を塗り広げたり、クレヨンで描画したのち画面を極限まで擦ってみたい、チューブの中でカチカチに固まったアクリル絵具を砕いて画面に振りまいてみたい、思いついたことはすぐに実践。小学生から大人までの5名が参加され、アートの無限大の可能性を体感するワークショップとなりました。講師の金澤お得意の、フォークを曲げて成形する指輪作りも行いました。

受託事業

受託事業①



ライフとワーク「中学生作家はどのように誕生したのか」

人生のヒント、仕事のヒント

2024年11月30日(土) / 司会：平尾 順平さん ((特非)ひろしまジン大学)、講師：清古 尊 (チョコキサウルス協会) / フジタ スクエア まるくる大野 研修室 (廿日市市大野)

参加人数：8名

主催：フジタ スクエア まるくる大野 企画運営：特定非営利活動法人ひろしまジン大学

ラジオパーソナリティ、市役所職員、カーデザイナーなど廿日市市で活動をする6名を招いた講座「ライフとワーク」。その第一講目の「中学生作家はどのように誕生したのか」の講演と、手形収集のワークショップを当会代表・清古が担当させていただきました。

3つの人生の転機についてお話をしたのち、司会の平尾 順平さんにこれまで人生を深掘りしていただきました。参加者の皆さまにはペアを組んでいただき、お互いの手形の採取を体験。完成した手形には、それぞれの個性や想いが表れ、ひとつひとつがかけがえのない記録となりました。

受託事業②



押しピンが使えないならカーテンレールから吊り下げればいいじゃない展

画像は、イメージです。

2024年12月14日(土)～2025年1月15日(水) / 自然のめぐみキッチン (廿日市市阿品台)

受託元：自然のめぐみキッチン 主催：チョコキサウルス協会

地元の人びとから愛されるレストラン「自然のめぐみキッチン」の2階にて、清古 尊+藤井 悠輔による絵画作品《時間の隔離》(2024年、ミクストメディア/布)を展示しました。全長約5メートルにおよぶ本作は、本展覧会の目玉作品として位置づけられています。

なお本作は、展示当日の朝に制作を行うという過密なスケジュールのもとで完成しました。

窓枠に吊るし、カーテンのように設えた作品は空間全体をやわらかく包み込み、訪れた方々の視線を自然と引き寄せます。お食事を楽しむひとときの中で、視覚的な体験もあわせて味わっていただける場となることを目指して企画いたしました。

特別事業

特別事業①



清古尊手形展

当会代表・清古による手形コレクション全点（当時）を提供

2024年9月24日（火）～2024年9月28日（土） / とよのていねいシェア図書館（大阪府豊能郡豊能町ときわ台）

主催：一般社団法人とよのていねい

大阪府豊能町にて非常にユニークなアイデアで地域の盛り上がりを創造している一般社団法人とよのていねい。そちらで運営をされているシェア図書館にて、当会代表・清古が収集している広島県ゆかりの著名人の手形コレクションの展覧会を開催していただきました。手形の全点展示は当展覧会が初。県外に広島の魅力が伝わる第一歩となれば幸いです。

出展作家（会員）

清古尊（手形）

特別事業②



写真：宇都宮 正宗さん



写真：宇都宮 正宗さん

清古尊手形展

当会代表・清古による手形コレクションを提供

2024年11月9日（土）～2024年11月10日（日） / 豊能町立西公民館（大阪府豊能郡豊能町光風台）

企画運営：一般社団法人とよのていねい

9月24日より開催された「清古尊手形展」を企画して下さった一般社団法人とよのていねいが、本展においても引き続き企画をご担当くださいました。豊能町立西公民館にて開催をされた「とよの文化祭」内で開催をされ、より広く県外の方々に広島の魅力をお伝えすることができたのではないかと考えています、

出展作家（会員）

清古尊（手形）

作品出展・受賞

作品出展・受賞①



わかもの映画祭
2025.3.8(SAT)・9(SUN) 10:00-17:00
主催：(公財)広島市文化財団 広島市青少年センター
場所：広島市青少年センター

3/8(土) 14:00-17:00
追田公介監督来場
短編映画『寝てみるごと』
特別上映 決定!!

14:00 開演式
14:20 オープニングセレモニー
15:10 オープニング上映
ワークショップ

【問い合わせ先】
公益財団法人 広島市文化財団 広島市青少年センター
〒730-0011 広島市中区基町 9-41
TEL: 082(228-0477) FAX: 082(228-7074) mail: y-center@city.hiroshima.jp



ある種の自己紹介ってどうかさ。

名前って自分でつけるわけじゃないのにその人がわかる

366人に訊く名前の由来
19/366 ver
監督・撮影・編集
清古尊

撮影:森井悠輔 補写:リーチェ
基となった作品:『11歳だったあなたへの11の質問』小森はるか・瀬尾夏実
音楽:今井真人 オーケストラ
制作:チヨキサワラス協会



わかもの映画祭

2025年3月8日〈土〉～2025年3月9日〈日〉 / 広島市青少年センター（広島市中区基町）
主催：一般社団法人宮島観光協会、中国新聞社

出展作品

- ・清古尊 監督 《366人に訊く名前の由来 19/366ver》（2024年、映像） - 入選

コラム

| 今年度の累計 (自主事業、受託事業のみ)

展覧会出展者数

13 名

展覧会出展作品数

106 点

イベント参加者数

13 名

チヨキサウルス協会